JVLEDGER

外貨建取引・送金対応
会計システム
JVLedger 機能概要書

IFRS準拠・記帳通貨USD・外貨建取引・月末外貨換算・送金データ出力

Beta version 1.0

対象：経営管理者・経理責任者・システム導入検討者

発行：2026年11月

本書に掲載している画面・数値はすべてデモ用のサンプルデータです。

目次

1. JVLedger とは

2. 想定する会社と会計の前提

3. FX Ledger との違い

4. 機能一覧

5. 外貨建取引の入力（取引通貨・換算レート）

6. 未払金の管理と支払

7. 送金データの出力（全銀・ISO 20022・CSV）

8. 振込先口座の管理と不正送金の防止

9. 月末の外貨換算（洗替え）

10. ワークフロー承認

11. 帳簿・財務諸表

12. マスタ管理

13. セキュリティ・内部統制

14. 動作環境とベータ版の制限事項

1. JVLedger とは

JVLedger は、LNG開発JVなどに参加する小規模な会社のための**IFRS準拠の会計Webアプリケーション**です。帳簿はUSD（記帳通貨＝Local Currency）の1冊だけを持ちます。円や豪ドルなどの外貨建取引は、**取引通貨（Document Currency）の金額とUSD金額の両方**で記帳します。

多通貨会計システム「FX Ledger」から派生したシステムです。帳簿体系、帳票、承認ワークフローはFX Ledgerを引き継いでいます。そのうえで、未払金の支払、銀行への送金データ出力、月末の外貨換算を一つの流れで行えるようにしました。

外貨のまま入力

請求書の通貨と金額をそのまま入力します。換算レートは為替レートマスタから自動で入り、USD金額が計算されます。

承認と同時に送金データ

支払の最終承認時に、承認者が形式を選ぶと、Web Bankingに取り込める送金ファイルが作られます。

月末換算は1クリック

外貨建の預金と未払金を期末レートで換算し、翌月1日に自動で振り戻します（洗替え）。

不正送金を防ぐ統制

振込先口座の登録・変更は別の管理者の承認が必要です。二重支払の防止や、送金ファイルの改ざん検知にも対応しています。

2. 想定する会社と会計の前提

項目	前提
会計基準	IFRS（国際財務報告基準）
記帳通貨・機能通貨	USD。外貨建取引は取引日のレートでUSDに換算して記帳します。外貨建の貨幣性項目は期末レートで換算します（IAS 21）。
銀行口座	USD口座を基本とし、円口座も持てます。初期設定は「USD-01（1010 預金・USD口座）」と「JPY-01（1015 預金・円口座）」の2口座です。
取引銀行	日本の銀行（みずほ銀行・三菱UFJ銀行）を想定しています。国内振込は全銀形式、外国送金・外貨送金はISO 20022（pain.001）またはCSVで出力します。
支払口座の使い分け	円建ての請求は円口座から、USD建ての請求はUSD口座から支払います。請求書と支払口座の通貨が異なる支払はできません。
会社の規模	ワークフローに参加できるユーザーは最大20名です。
JVの会計処理	IFRS 11の共同支配事業として、参加持分に応じた額を自社の帳簿に直接計上します。オペレーターのBilling Statementを取り込めます。

3. FX Ledger との違い

項目	FX Ledger	JVLedger
帳簿体系	本店（USD）と通貨別の支店帳簿。本支店会計	USD帳簿の1冊だけ。本支店会計はありません。
外貨建取引	支店帳簿に現地通貨で記帳し、合算時にUSDへ再測定	仕訳ごとに取引通貨と換算レートを持ち、外貨額とUSD額の両方を記帳
期末換算	帳票作成時に計算（仕訳は作らない）	換算仕訳を作成し、承認を経て転記。翌月1日に自動で振戻し（洗替え）
未払金	残高管理のみ	請求書ごとの未決済明細管理（支払期日・消込）
支払・送金	なし	支払仕訳の作成、実現為替差損益の自動計上、送金データ出力
振込先口座	なし	取引先マスタに登録。管理者承認制
主な帳票の追加	本支店合算精算表・支店換算表	未払金明細（支払予定表）・外貨換算プレビュー・支払一覧

4. 機能一覧

区分	機能	概要
入力	仕訳入力	取引通貨、換算レート、計上日（Posting Date）、伝票日付（Document Date）、支払期日、請求書番号を入力します。明細は取引通貨で入力し、USD額は自動で計算します。
	支払（送金）	取引先、支払口座、振込先口座、支払う請求書を選ぶと、支払仕訳が自動で作られます。
	外貨換算（月末）	外貨建の預金と未払金をプレビューし、換算仕訳を作成して回付します。
	JV Billing取込	オペレーターのBilling Statement（Excel／CSV）から持分相当額の仕訳下書きを作ります。
	添付ファイル	請求書などの証憑を伝票に添付します。
ワークフロー	回付・承認	起票者 → レビュアー（0〜5名）→ 承認者。差戻し・却下・引戻し・逆仕訳に対応します。
	送金データ出力	支払の最終承認時に、承認者が形式を選んで出力します。
	送金データ一覧	作成した送金ファイルの一覧、再ダウンロード、ダウンロード回数を表示します。
帳簿・財務諸表	帳簿	仕訳帳、総勘定元帳（外貨額・外貨残高付き）、試算表、間接税集計表、未払金明細、外貨換算プレビュー、支払一覧
	財務諸表	財政状態計算書、純損益及びその他の包括利益計算書、持分変動計算書、キャッシュフロー計算書（間接法）。いずれもExcel出力とPDF出力に対応しています。
マスタ・管理	マスタ	取引先と振込先口座、当社銀行口座、勘定科目、税コード、為替レート、JVコード対応表
	管理	ユーザーとロール、振込先口座の承認、会社の設定、期間締め、監査ログ、日本語／英語の切替

5. 外貨建取引の入力

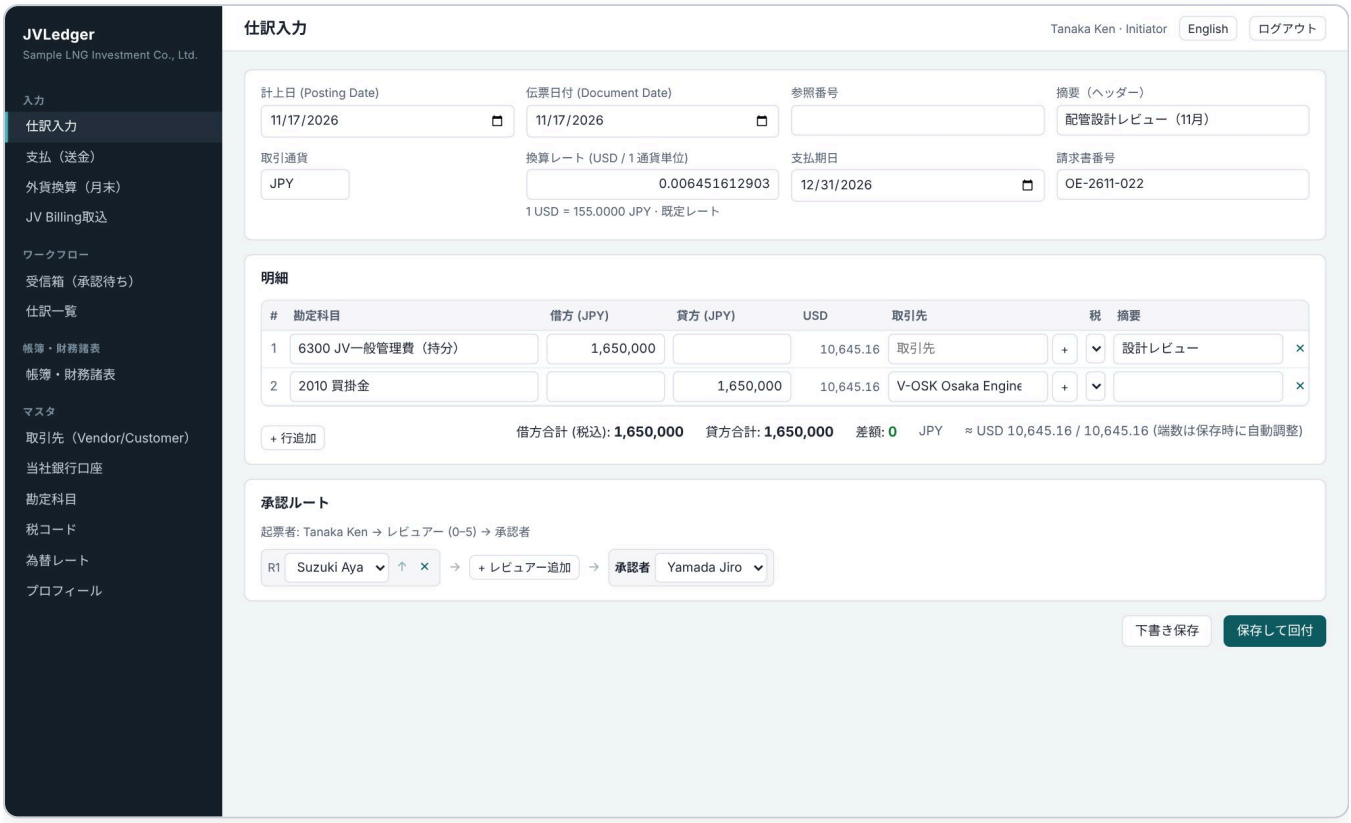


図5-1　仕訳入力画面（円建ての請求書。明細は円で入力し、USD額は右の列に自動表示）

取引通貨と換算レート

1枚の伝票には取引通貨を一つ指定します。換算レートは「1通貨単位あたりのUSD」で持ち、計上日に応じて次の順に自動で入ります。レートは手入力で上書きすることもできます。

1. 計上日以前で、同じ月の直近の日次レート（D）
2. その月の月中平均レート（M）
3. 直近の期末レート（C）または日次レート

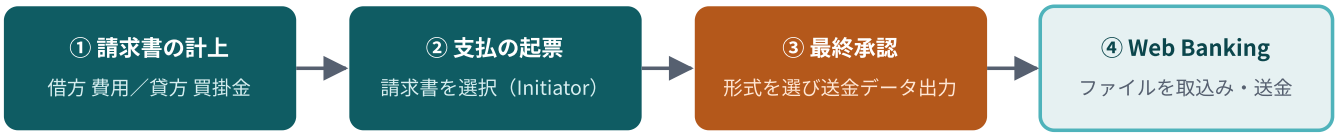
明細の外貨額に換算レートを掛けた額を、USD額として小数点以下2桁で記帳します。端数の関係で借方と貸方のUSD合計がずれた場合は、金額の最も大きい行で自動的に調整します。

未払金（未決済明細）の入力

「2010 買掛金」は未決済明細を管理する科目です。この科目の貸方に入力するときは、取引先と支払期日が必要です。請求書番号を入れておくと、支払画面、未払金明細、送金データの送金メッセージに表示されます。

> USD口座（1010）はUSD建ての伝票でしか、円口座（1015）は円建ての伝票でしか使えません。口座の通貨と記帳する外貨額を常に一致させるためです。

6. 未払金の管理と支払



転記と同時に請求書は消し込まれ、送金ファイルは支払伝票に保存されます

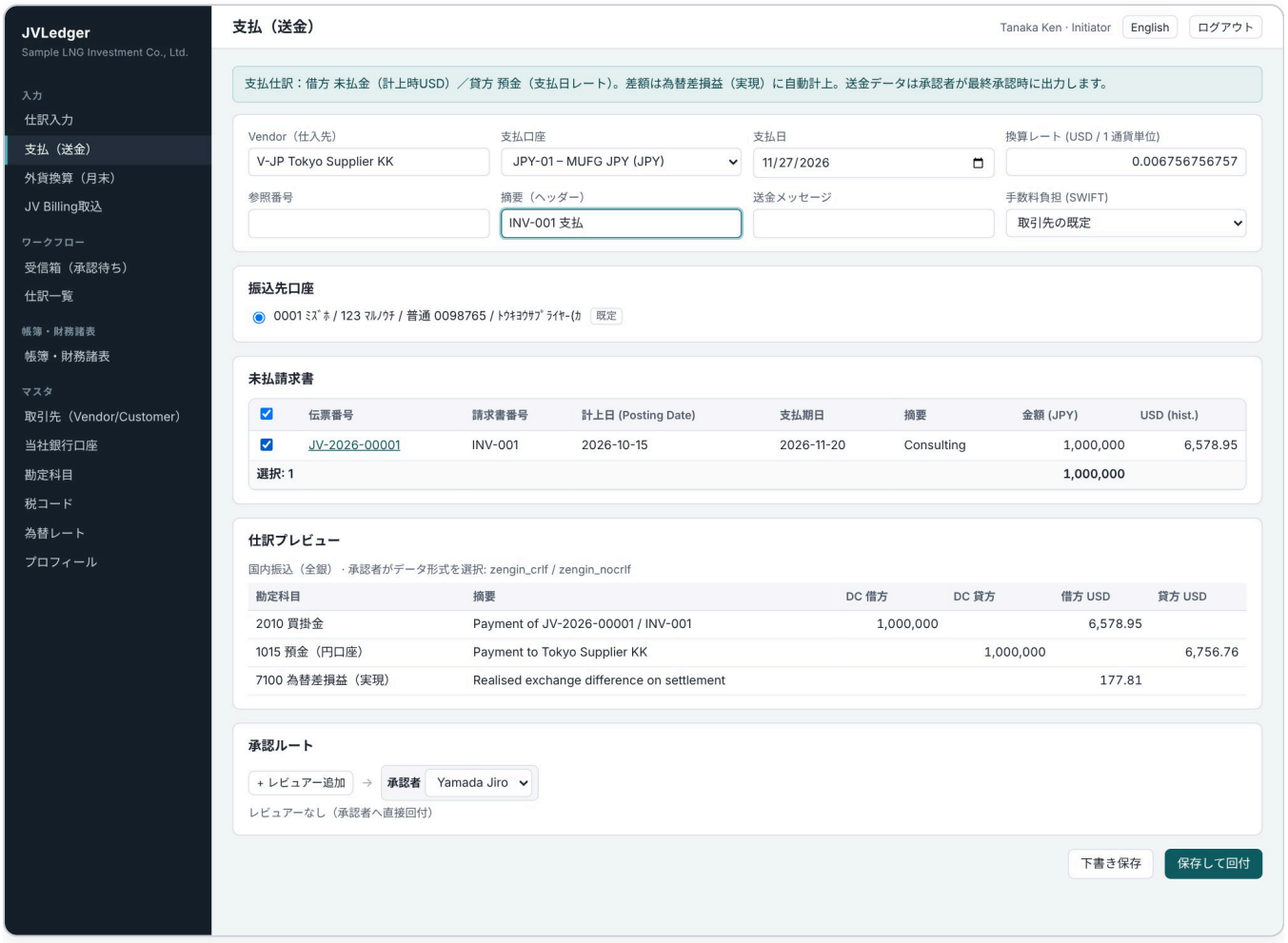


図6-1　支払入力画面。未払の請求書を選ぶと、支払仕訳がプレビューされます。

支払仕訳

支払仕訳は、システムが次のように自動で作ります。

行	借方	貸方	USD額
請求書ごと	2010 買掛金（取引先）		請求書を計上したときのUSD額
支払口座		1015 預金（円口座）など	外貨額 × 支払日のレート

差額	7100 為替差損益（実現）	上の2行の差額

例：1,000,000円の請求書を1 USD＝152円で計上し（6,578.95 USD）、1 USD＝148円の日に支払った場合、預金の減少は6,756.76 USDです。差額の177.81 USDを為替差損として計上します。

二重支払の防止

- 回付中の支払に含まれている請求書は、ほかの支払では選べません。
- 支払が転記されると請求書は消し込まれ、支払済の請求書は逆仕訳できません。
- 支払の逆仕訳を転記すると、請求書は未払に戻ります。ただし、銀行での送金そのものは取り消されません。

7. 送金データの出力

送金データは、承認者が支払を最終承認するときに出力します。承認画面で形式を選び［承認して送金データ出力］を押すと、支払が転記され、同時にファイルが作られてダウンロードされます。**送金データのコンバイン（複数の支払を1ファイルにまとめること）は行いません。**1つの支払につき1ファイルを作ります。

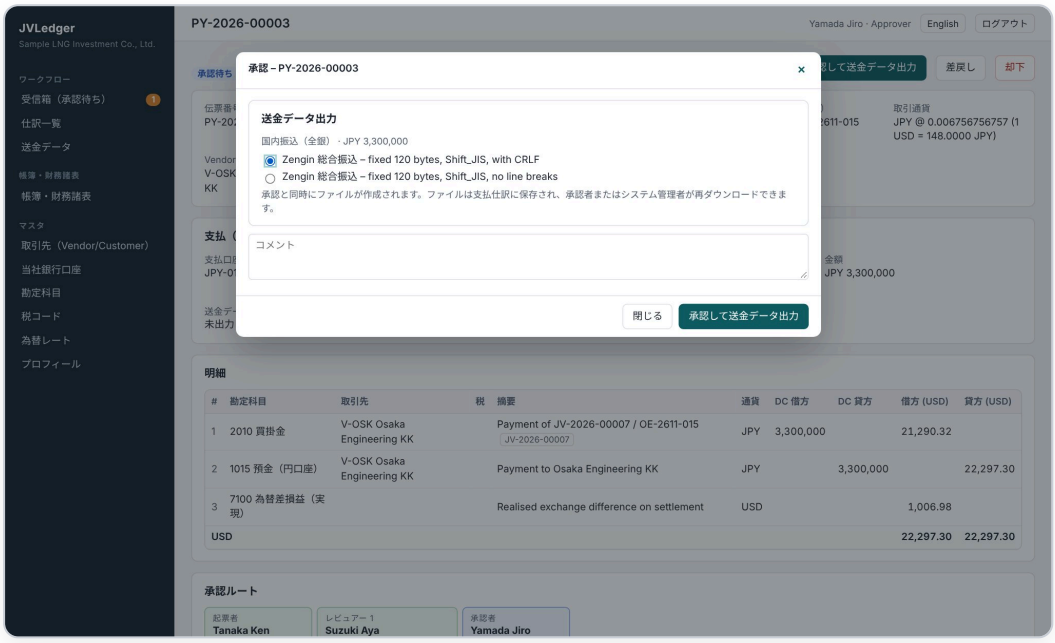


図7-1　最終承認と送金データ形式の選択

送金方法	対象	選べる形式
国内振込（全銀）	振込先が「国内（全銀）」で、円建ての支払	**全銀協規定 総合振込（改行あり）**：120バイト固定長、Shift_JIS、レコードごとに改行 **同（改行なし）**：レコードを連続して出力
外国送金・外貨送金	振込先が「外国送金（SWIFT）」の支払。USD口座からのUSD送金は国内向けでもこちらです。	**ISO 20022 pain.001.001.09**（XML、SWIFT CBPR+ 対応版） **ISO 20022 pain.001.001.03**（XML） **汎用CSV**（UTF-8、項目見出し付き）

全銀形式のファイルには、ヘッダー（委託者コード・委託者名・取組日・仕向銀行・依頼人口座）、データ（被仕向銀行・支店・預金種目・口座番号・受取人名・金額）、トレーラー（件数・合計金額）、エンドの各レコードを出力します。カナは半角カナに自動で変換し、1レコードが正確に120バイトになることを確認してから出力します。

pain.001には、依頼人の名前・住所・口座・BIC、受取人の名前・構造化住所・口座（IBANまたは口座番号）・受取銀行のBIC、中継銀行、手数料負担（SHA／OUR／BEN）、送金目的、送金メッセージ（請求書番号を含む）を出力します。

送金ファイルの管理

- ファイルは支払伝票に保存され、作成日時、作成者、サイズ、SHA-256ハッシュ値、ダウンロード回数を記録します。
- 再ダウンロードできるのは、その支払の承認者とシステム管理者だけです。2回目以降のダウンロードには「二重送金に注意」の表示が出ます。
- ファイルの作成とダウンロードは、すべて監査ログに記録します。

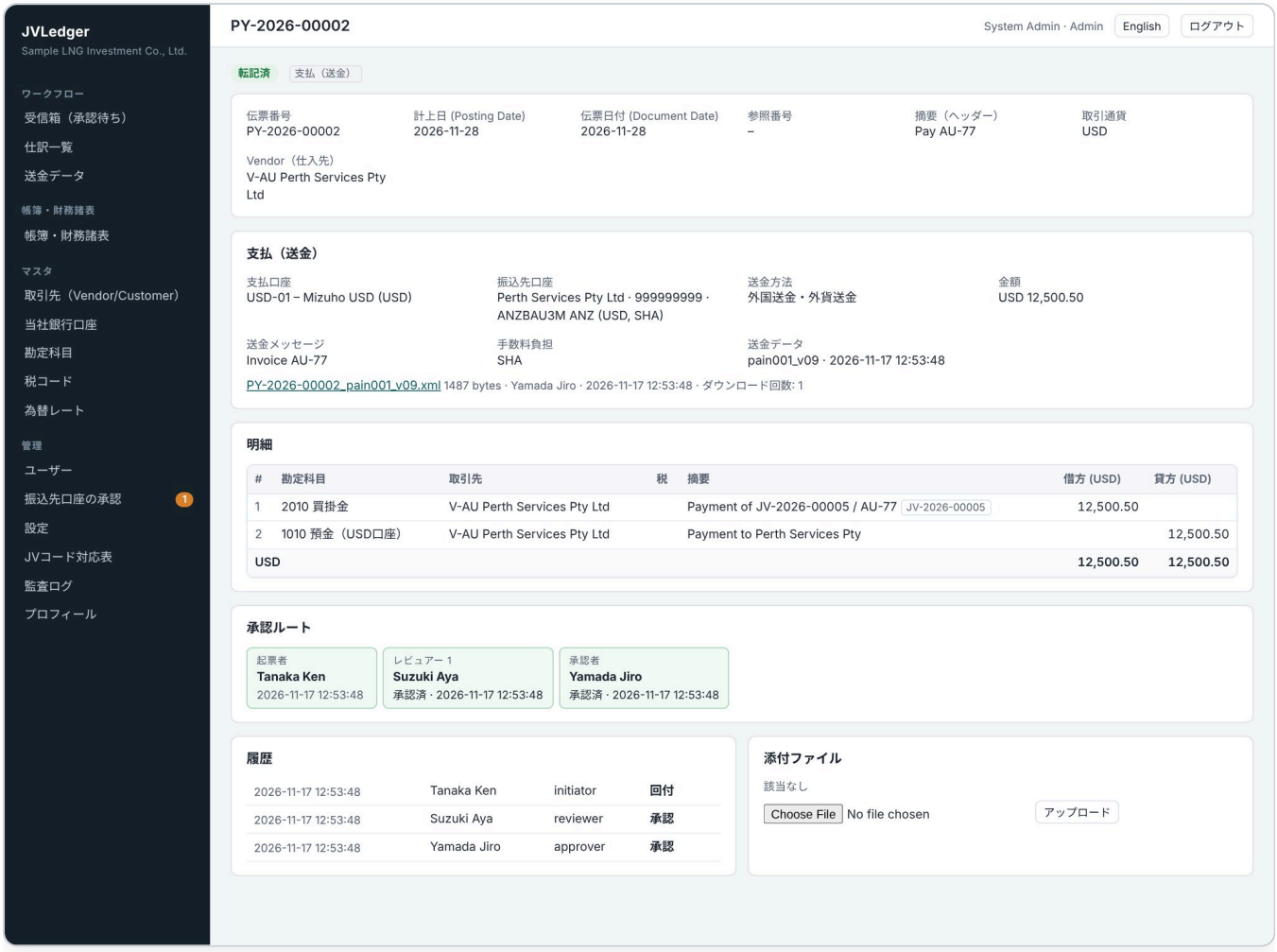


図7-2　転記済みの支払（外国送金・pain.001.001.09で出力済み）

8. 振込先口座の管理と不正送金の防止

振込先の口座は、取引先マスタに登録します。1つの取引先に複数の口座を登録でき、通貨ごとに既定の口座を1つ決めておけます。支払入力では、支払口座の通貨に合う既定の口座が自動で選ばれます。



図8-1　国内振込（全銀）の口座



図8-2　外国送金（SWIFT）の口座

種類	主な項目
国内（全銀・円）	金融機関コード（4桁）、金融機関名（半角カナ）、支店コード（3桁）、支店名（半角カナ）、預金種目、口座番号（7桁）、口座名義（カナ）
外国送金（SWIFT）	受取人名、住所（番地・建物番号・郵便番号・都市・国）、IBANまたは口座番号、受取銀行のBIC・名称・所在地、中継銀行のBIC、手数料負担、送金目的

承認制による統制

- 口座の新規登録・変更は「承認待ち」になり、**変更した本人以外のシステム管理者**が承認するまで支払に使えません。
- 支払を回付した後に口座が変更された場合、その支払は最終承認できません。
- 変更者、変更日時、承認者、承認日時を記録し、監査ログにも残します。

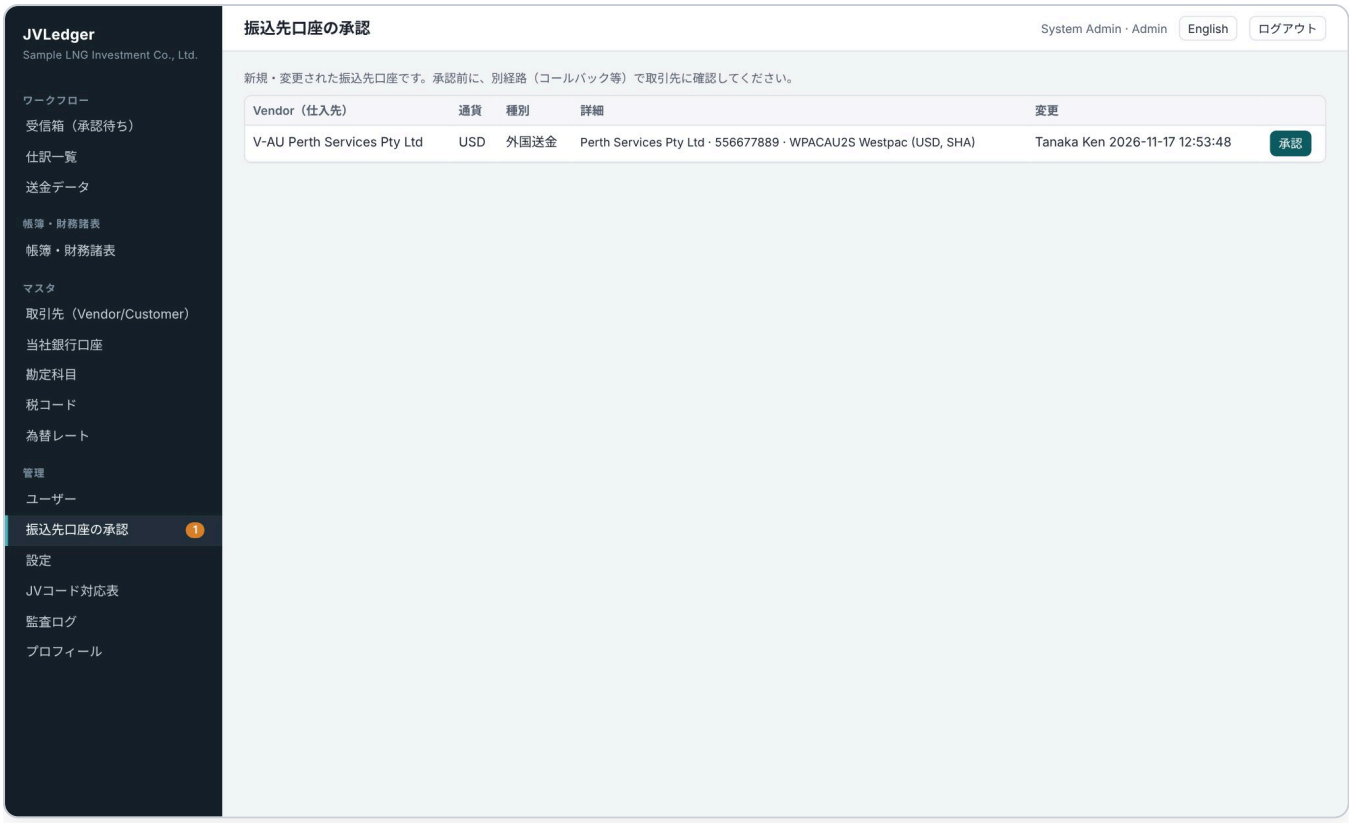


図8-3　振込先口座の承認画面（システム管理者）

メールや書面で口座変更の連絡を受けたときは、承認する前に、取引先の既知の連絡先へ電話するなど別の経路で必ず確認してください（ビジネスメール詐欺への対策）。

9. 月末の外貨換算（洗替え）

IAS 21では、外貨建の貨幣性項目を期末日のレートで換算します。JVLedgerでは、月末に「外貨換算（月末）」の画面で次の手順で行います。

1. 換算日（月末日）を指定すると、対象の残高と換算差額がプレビューされます。
2. ［換算実行して回付］を押すと、換算仕訳（FX-）が作られ、通常の承認ワークフローに回付されます。
3. 承認されて転記されると、**翌月1日付の振戻仕訳が自動で転記**されます。

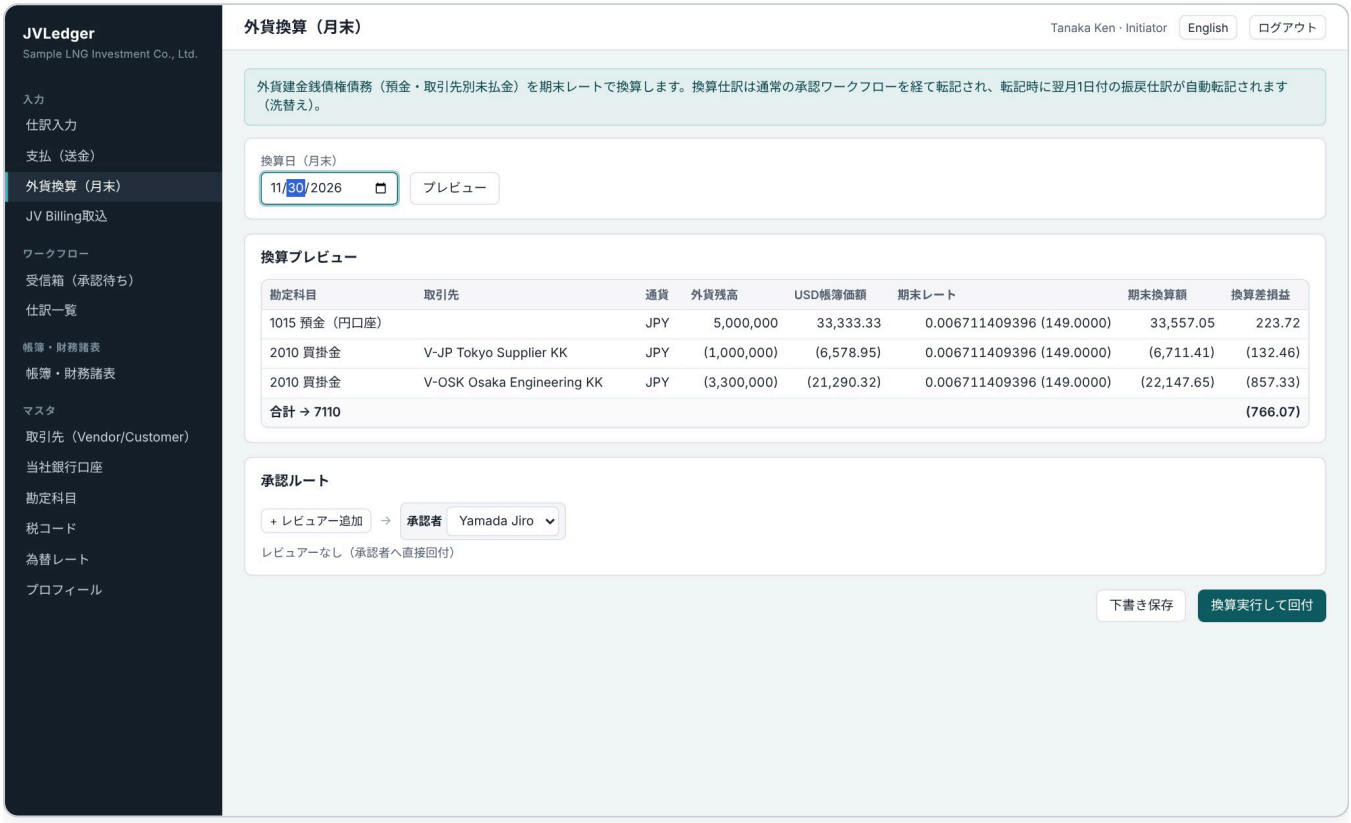


図9-1　外貨換算のプレビュー

項目	内容
対象	貨幣性項目のフラグがあり、USD以外の通貨の残高がある勘定科目。預金は口座（科目）ごと、未払金は取引先と通貨ごとに換算します。
換算レート	換算日の期末レート（C）。なければ換算日以前の直近の日次レート（D）を使います。
帳簿価額	過去の換算仕訳を除いた、取引時レートによるUSD額です。洗替えの方法なので、換算差額は毎月、取引時の額と期末の額の差として計算されます。
相手科目	7110 為替差損益（期末換算・未実現）。システム科目なので、手入力では使えません。
二重実行の防止	同じ換算日の換算仕訳が回付中または転記済みのときは、作成できません。

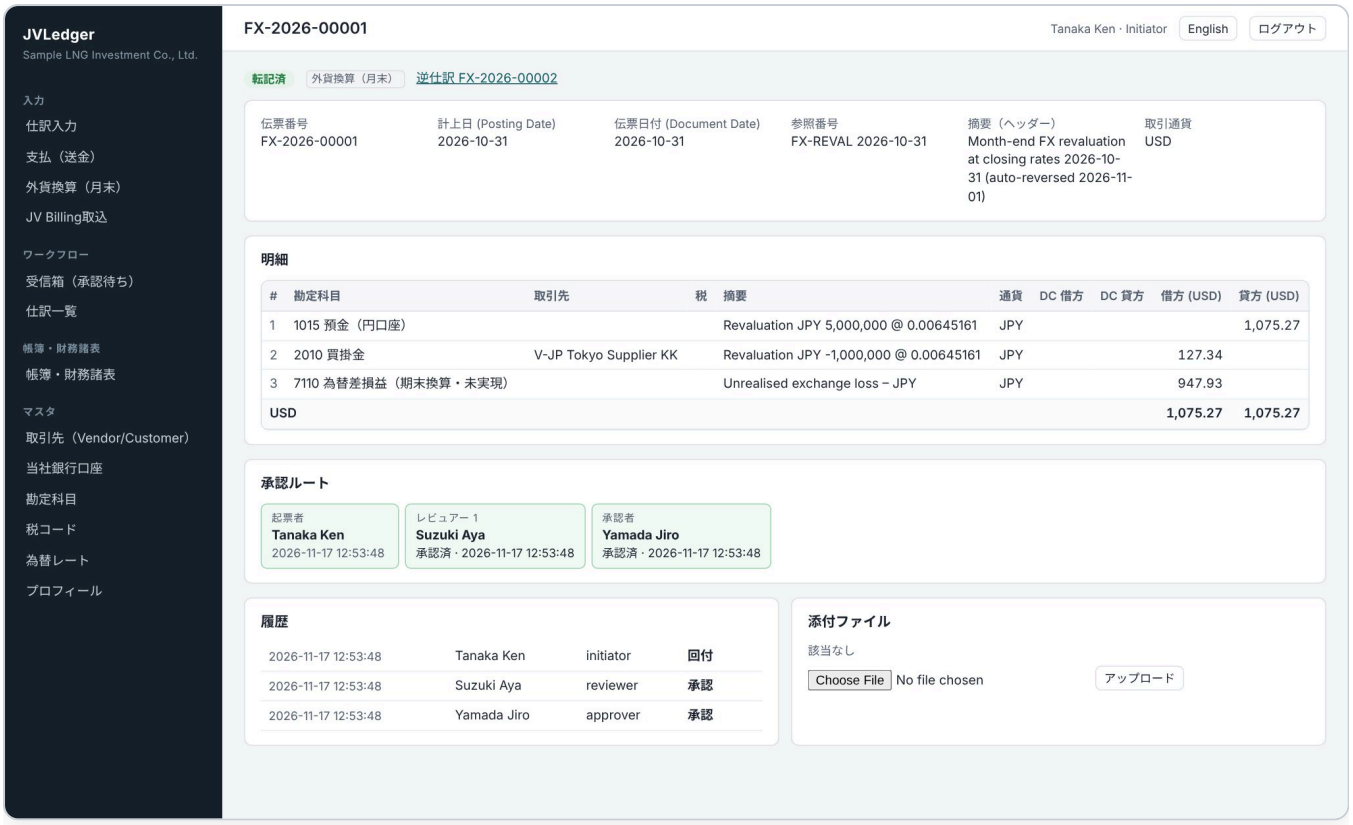


図9-2　転記済みの換算仕訳と、自動で作られた逆仕訳へのリンク

振戻しにより、翌月の支払では請求書を計上したときのUSD額で買掛金を消し込みます。そのため、実現為替差損益は請求時と支払時のレートの差として正しく計算されます。

10. ワークフロー承認

すべての仕訳（支払・換算仕訳を含む）は、起票者 → レビュアー（0〜5名、指定した順）→ 承認者の順に回付され、承認者が承認した時点で帳簿に転記されます。

ロール	できること
1. System Admin	ユーザー・ロールの管理、当社銀行口座、振込先口座の承認、勘定科目・税コード・為替レート、期間締め、監査ログ、送金ファイルの再ダウンロード
2. Initiator	仕訳・支払・外貨換算の起票、回付先の指定、引戻し、修正、取消、逆仕訳の作成、取引先と振込先口座の登録（承認待ちになります）
3. Reviewer	回付された伝票の確認、承認（次へ回付）、差戻し、却下
4. Approver	最終承認（転記）、差戻し、却下。支払の最終承認時には送金データを出力

- 起票者は、自分の伝票のレビュアーや承認者になれません。また、1つの伝票で同じ人がレビュアーと承認者を兼ねることはできません。
- 差戻しと却下にはコメントが必要です。承認の履歴は伝票ごとに保存されます。

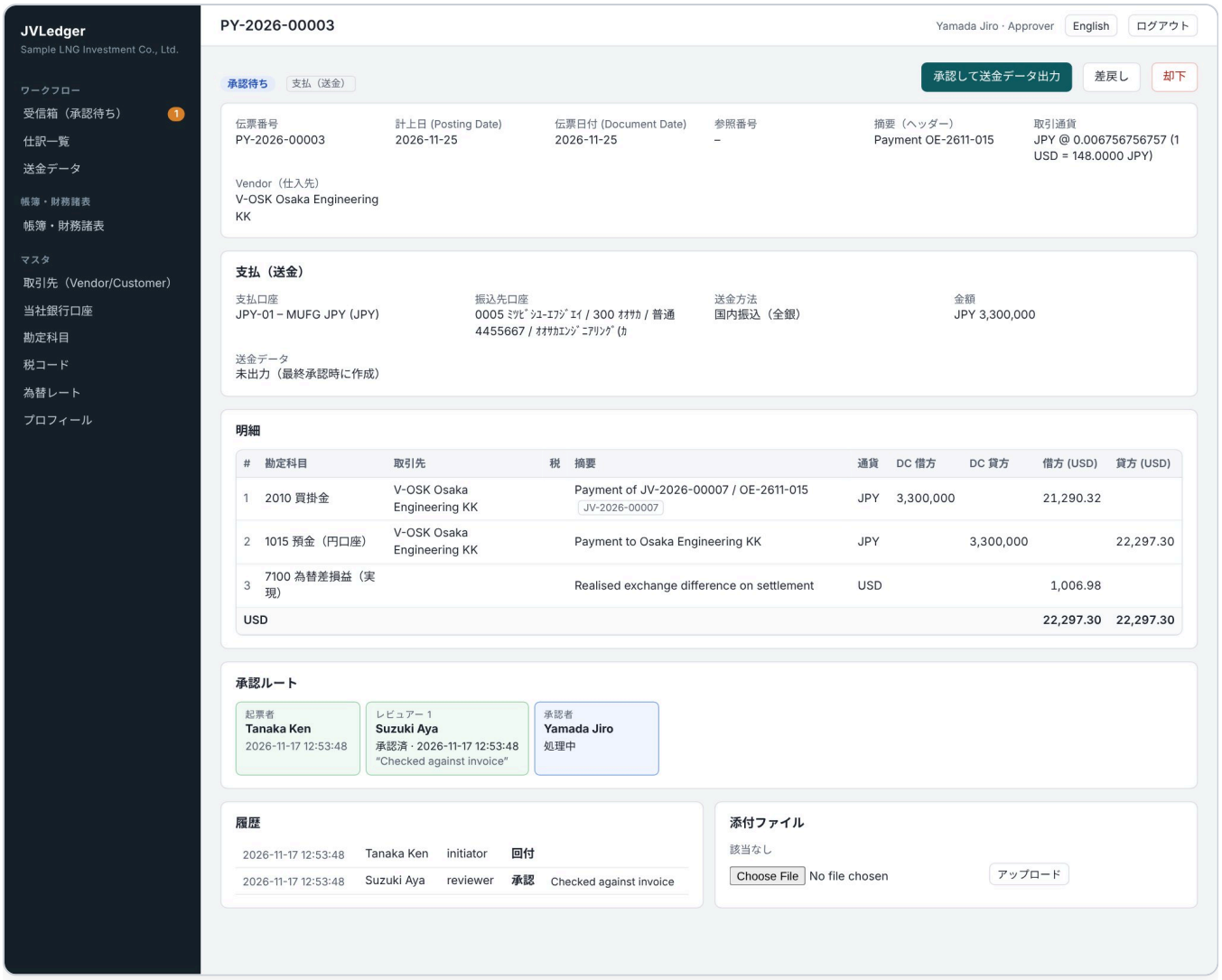


図10-1　承認待ちの支払（レビュアー承認済み、承認者の処理待ち）

11. 帳簿・財務諸表

帳票	内容
仕訳帳	伝票ごとに取引通貨・換算レート、明細ごとに外貨額（DC）とUSD額を表示します。回付中の仕訳を含めて出力することもできます。
総勘定元帳	科目ごとの明細、外貨額、USD残高、期末の外貨残高を表示します。取引先で絞り込めます。
試算表	期首残高、借方、貸方、期末残高
財務諸表	財政状態計算書（比較）、純損益及びその他の包括利益計算書、持分変動計算書、キャッシュフロー計算書（間接法）
間接税集計表	税コード別の課税標準額と税額（USD）
未払金明細（支払予定表）	基準日時点の未払請求書。取引先・通貨別の小計、支払期日、延滞日数、取引時と期末のUSD額、エイジングを表示します。
外貨換算プレビュー	基準日時点の外貨建の貨幣性項目と換算差額の見込み
支払一覧	期間内の支払、送金方法、金額、状態、送金データ形式、出力日時、出力者

キャッシュフロー計算書では、外貨建預金の換算差額を営業活動の調整項目から除き、**「現金及び現金同等物に係る換算差額」**として表示します。すべての帳票は画面表示、Excel出力、PDF出力（印刷）に対応しています。

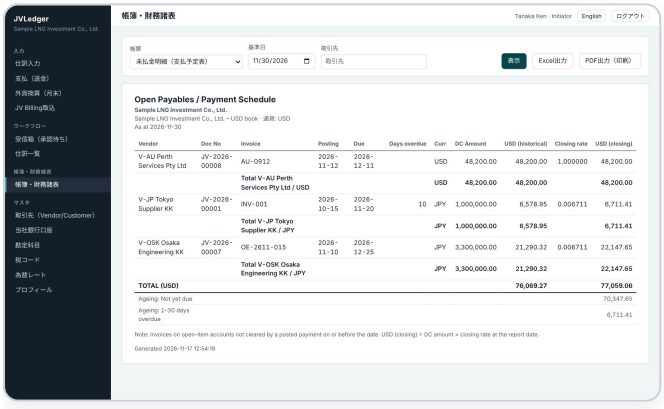


図11-1　未払金明細（支払予定表）

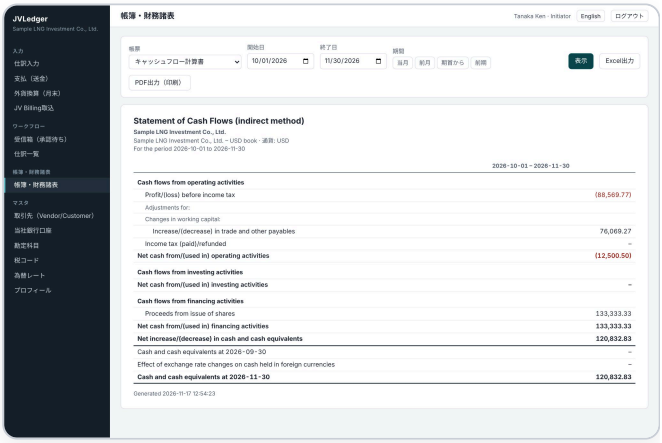


図11-2　キャッシュフロー計算書

12. マスタ管理

マスタ	内容
取引先	Vendor／Customerを一元管理します。振込先口座（国内・外国送金）を複数登録できます。
当社銀行口座	USD口座・円口座。勘定科目との対応、全銀の委託者コード・委託者名、金融機関・支店のコードとカナ名、ISO 20022用の依頼人名・住所・BIC・IBANを持ちます。
勘定科目	財務諸表区分、貨幣性項目のフラグ（期末換算の対象）、CF区分、未決済明細管理のフラグ（未払金）
為替レート	日次（D）、月中平均（M）、期末（C）。「1USDあたりの通貨額」で入力したり、CSVを貼り付けて一括登録したりできます。
税コード	VAT／GST／消費税など。税率と計上する科目
JVコード対応表	Billing Statementのコストコードと勘定科目の対応

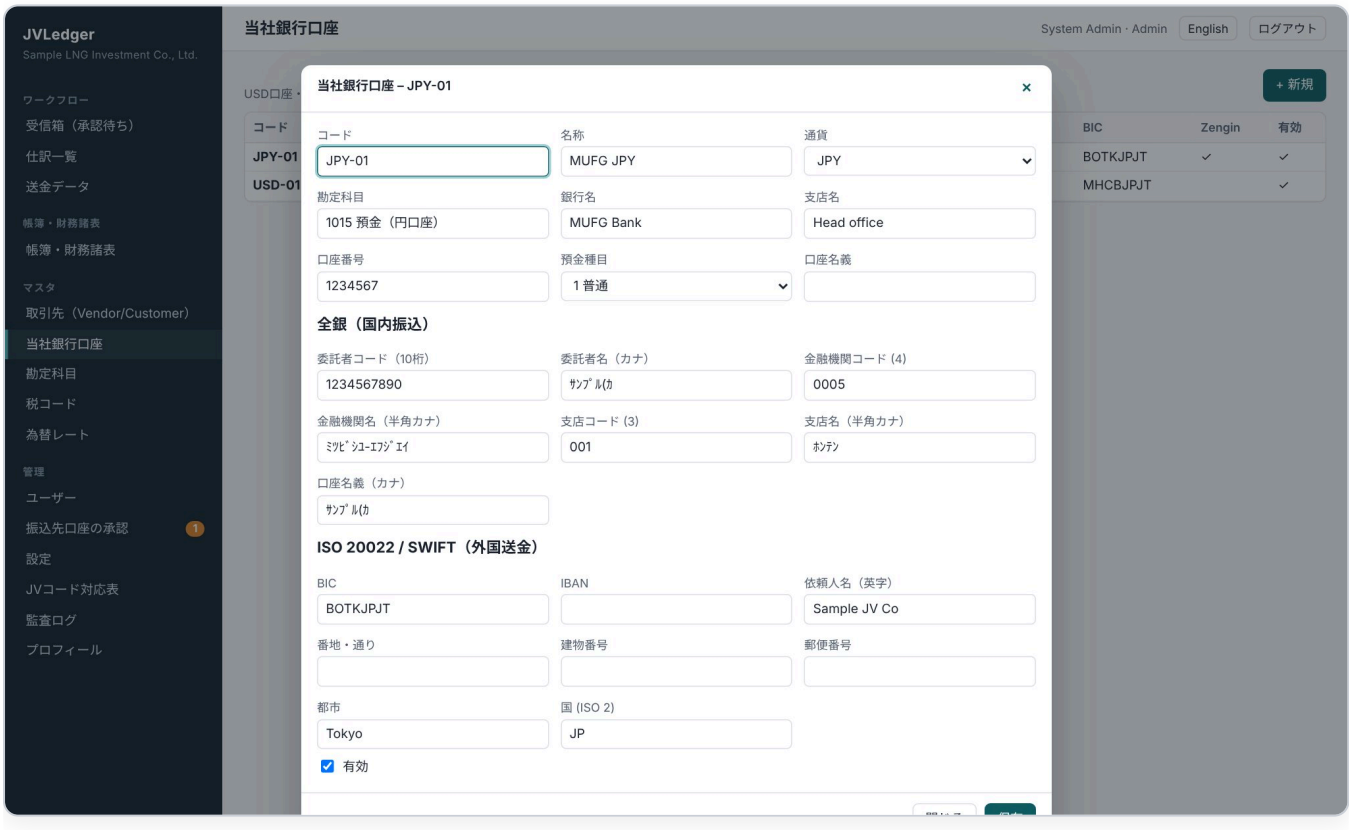


図12-1　当社銀行口座（全銀とISO 20022の設定）

13. セキュリティ・内部統制

- **職務分掌**：起票、確認、承認を別の人が行います。振込先口座の変更も、変更者と承認者を分けます。
- **送金統制**：送金データは承認と同時にしか作られず、承認者とシステム管理者しか取り出せません。ファイルのハッシュ値とダウンロード回数を記録します。
- **期間締め**：締め済みの期間には、計上・承認・転記ができません。
- **監査ログ**：ログイン、マスタの変更、伝票の操作、送金ファイルの作成・ダウンロードを記録します。
- **アクセス保護**：HTTPSの強制、CSRF対策、連続したログイン失敗でのロック、セッションのタイムアウト、設定ファイルとデータフォルダへの外部アクセスの遮断。

14. 動作環境とベータ版の制限事項

項目	内容
サーバー	PHP 8.1以上、MySQL 5.7／MariaDB 10.3以上（一般的なcPanelレンタルサーバーで動作します）
ブラウザ	Google Chrome、Microsoft Edge、Safari、Firefox の最新版
言語	画面は日本語／英語を切り替えられます。帳票は英語で出力します。

ベータ版の制限事項

- 送金データの形式は一般的な仕様に基づいて作成しています。**みずほ銀行・三菱UFJ銀行の各Web Banking で取り込めるかは、各行の取込仕様で確認し、少額のテスト送金で検証してから**本番で使ってください。
- 銀行とのAPI連携、送金結果の自動取込、銀行明細の照合は行いません。
- 送金データのコンバイン（複数の支払の一括出力）は行いません。
- 未決済明細の管理は未払金（2010）だけが対象です。売掛金の消込はありません。
- 振込手数料は送金データに含めません。手数料は銀行の明細に基づいて別に仕訳します。